

# 医療センターニュース

編集：三重県立総合医療センター広報紙編集委員会

<http://www.mie-gmc.jp/>

〒510-8561 四日市市大字日永5450-132 TEL (059) 345-2321 (代表)

E-mail: [sogohos@mie-gmc.jp](mailto:sogohos@mie-gmc.jp)



新規採用職員

## 県立総合医療センターの基本理念・基本方針

### 基本理念

- 1 救命救急、高度、特殊医療等を提供することにより、県の医療水準の向上に貢献します。
- 2 安全・安心で互いにささえあう社会の実現に向けて医療面から貢献します。

### 基本方針

- 1 患者の皆様の権利を尊重し、信頼と満足の得られるチーム医療を提供します。
- 2 県の基幹病院として医療水準の向上に努めるとともに、医療人材の育成に貢献します。
- 3 県内医療機関との連携を強化し、地域医療の充実に努めます。
- 4 職場環境を改善し、職員のモチベーションの向上に努めます。
- 5 責任と権限を明確にした自律的・自主的な経営を行います。

## もくじ

|                                   |  |
|-----------------------------------|--|
| 新年度にあたって……………2                    | 生活習慣病・糖尿病教室のご案内……………3                          |
| ゴールデンウィーク期間中の<br>救急医療体制について……………2 | 当院の協力病院(連携医療機関)紹介<br>医療法人社団主体会 小山田記念温泉病院……………4 |
| 新任医師の紹介……………3                     |  |

# 新年度にあたって

理事長兼院長 高瀬 幸次郎

平成24年4月の当院の地方独立行政法人化に際して、三重県知事から理事長兼院長を拝命し、これまで地域の皆さんから信頼される病院づくりに努力してまいりましたが、引き続き、本年4月からも理事長兼院長に任命され、改めて身の引き締まる思いがしております。

さらに、副理事長をはじめ3名の副院長が交代となったため、新たな体制で病院運営の舵取りを行っていくこととなりますが、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

さて、今年度は、地方独立行政法人に移行して5年目となる節目の年であり、第一期中期目標期間(平成24年度～28年度)の最終年度を迎えます。

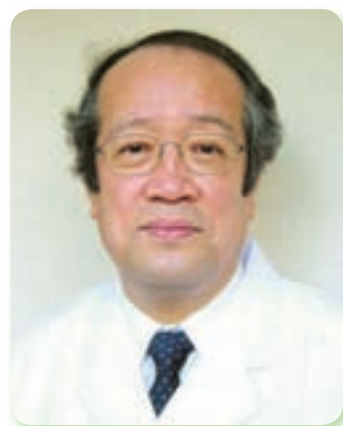
これまで、北勢地域における中核的な病院として、周産期母子センターや内視鏡センター、北勢呼吸器センターの整備に加え、3.0T(テスラ)のMRI診断装置の導入等による高度医療の提供や人材育成に取り組むとともに、地域医療支援病院として、地域の診療所等との連携を図り、当地域の医療水準の向上に努めてまいりました。

現在、県において地域医療構想の策定が進められており、今後、同構想に基づいて県内各地域の病床機能の見直しが行われることになっています。

また、今回の診療報酬改定においても、急性期に密度の高い医療を必要とする患者の状態が適切に評価されるように基準の見直しが行われるなど、病院・病床の機能分化(役割分担)・集約化の促進や地域の医療機関との連携による、より効果的・効率的な医療体制の構築が進められています。

今年度も、当院に、7名の医師、10名の研修医、40名の看護師をはじめとする新たな仲間が加わりました。

今後も、新たな仲間とともに、引き続き中期目標の達成に向けた病院運営に取り組むとともに、地域住民の皆さんや地域の診療所等から信頼される病院をめざし、職員一同、一丸となって頑張っておりますので、ご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

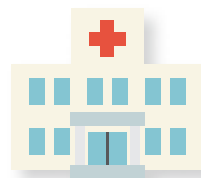


## ゴールデンウィーク期間中の救急医療体制について

ゴールデンウィーク期間中は地域の医療機関(診療所等)が休診となり、救急患者への迅速な対応ができなくなることから、当院では、**ゴールデンウィーク期間中(5/3～5/5)も救急外来において救急患者への診療を行います。**

期間中は混雑し、かなりの待ち時間が発生する場合がありますので、急病等で診療を希望される方は、あらかじめ代表電話(059-345-2321)へご連絡いただき、症状等をお伝えいただいたうえで、職員の指示に従ってください。

また、あくまでも、迅速な治療等を必要とする救急患者への診療を行うための体制ですので、緊急性の高い患者さんを優先して診療いたします。予めご了承ください。



# 新任医師の紹介



梅田 靖之

診療科名：脳神経外科  
 専門・資格：日本脳神経外科学会専門  
 医・指導医、日本脳神経血  
 管内治療学会専門医  
 前 任 地：三重大学医学部附属病院



柿本 拓也

診療科名：整形外科  
 専門・資格：日本整形外科学会専門医  
 前 任 地：三重大学医学部附属病院



川村 幹雄

診療科名：消化器・一般外科  
 専門・資格：消化器外科、日本外科学  
 会専門医  
 前 任 地：三重大学医学部附属病院



木村 弘子

診療科名：乳腺外科  
 専門・資格：日本乳癌学会乳腺専門医、  
 日本外科学会専門医  
 前 任 地：三重大学医学部附属病院



菅 大典

診療科名：消化器内科  
 専門・資格：消化器内科  
 前 任 地：鈴鹿中央総合病院



野口 智史

診療科名：消化器・一般外科  
 専門・資格：消化器外科、  
 日本外科学会専門医  
 前 任 地：三重大学医学部附属病院



山中 豊

診療科名：消化器内科  
 専門・資格：消化器内科、  
 日本内科学会認定内科医  
 前 任 地：松阪中央総合病院

※五十音順

## 生活習慣病・ 糖尿病教室のご案内

～ 楽しく学ぼう! 生活習慣病! ～

場所：県立総合医療センター7階講堂

時間：14時00分～15時30分

講師：当院医師・薬剤師・看護師・理学療法士・栄養士など

| 開催日         | 講義内容  |
|-------------|---|
| 【第1回】4月20日水 | 「生活習慣病・糖尿病はどんな病気?」「糖尿病の食事療法について」「基本的な運動療法について」                      |
| 【第2回】5月25日水 | 「病院のくすりは怖い?怖くない?～飲み薬編～」 「食物繊維について～1日どれくらい摂ればいいのか～」 「検査でわかる糖尿病」      |
| 【第3回】6月21日火 | 「合併症の予防 糖尿病と動脈硬化」「アルコールについて 飲んでもいいの?ダメなの?」「スキンケア・フットケア・口腔ケア」        |
| 【第4回】7月22日金 | 「合併症の予防 神経障害」「飲み物について 血糖値に影響する摂り方していませんか?」「病院のくすりは怖い?怖くない?～インスリン編～」 |
| 【第5回】8月24日水 | 「合併症の予防 腎臓の障害について」「外食について 上手に外食するコツとは?」「検査でわかる合併症」                  |
| 【第6回】9月21日水 | 「日常生活の楽しい過ごし方」「おやつについて カロリーってご存知ですか?」(サンプル展示) 「座ってできるストレッチ体操」       |

★1コース6回の研修です。6か月ごとにコースを繰り返します。どの回からでも参加できます。すべての研修に参加された方には修了書をお渡します!

**参加費無料!**

**【申し込み方法】**

内科外来窓口もしくは玄関入口の地域連携課「かけはし」でお受けいたします。

連絡先：地域連携課かけはし 059-345-2321(代)

# 当院の協力病院(連携医療機関)紹介 第23回

## 医療法人社団主体会 小山田記念温泉病院 院長 浜口 均



### 診療科目

内科、神経内科、整形外科、消化器科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、小児科(リハビリテーション)、放射線科、リハビリテーション科、歯科

### 外来受付時間

|       |   |   |   |   |   |   |   |
|-------|---|---|---|---|---|---|---|
| 8:00  | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
| 13:00 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ |

### 休診日

■日曜日・祝日

### 所在地

〒512-1111  
四日市市山田町5538-1  
TEL 059-328-1260(代表)

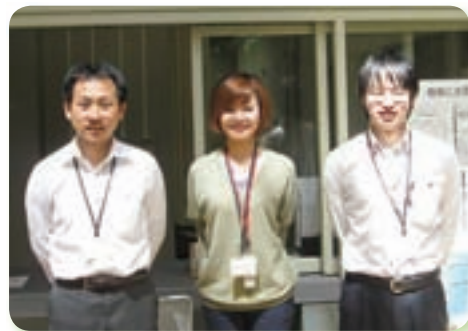


当院は、昭和61年11月に開院後、この地の医療機関や隣接する福祉施設群と連携し、特に高齢者の医療と福祉の充実に力を入れてきました。

現在、一般急性期医療を行う病棟113床、重度の障害や難病を持つ方の療養のための障害者病棟109床、集中的なリハビリを行う回復期リハビリテーション病棟60床、慢性的な医療と介護を要する高齢者のための介護療養型医療施設108床、合計390床で運営しております。

「地域包括ケア」が強調される中で、現在は一人の患者様に複数の医療・福祉機関がそれぞれの特性や強みを活かして、治療から生活へ向けてバトンをつなぐ“機能分化と連携”がますます重要となっております。

県立総合医療センターをはじめとする高度急性期病院は、当地域におけるまさに医療の要であり、一番走者です。その中で、当院が地域において最も求められる役割は、その次のバトンを担う



医療機関として、①急性期病院からスムーズに患者様を受け入れ、②患者様が生活に向かうためのリハビリテーションを含む総合的な医療を提供し、③地域におけるかかりつけ医の先生や福祉機関等にバトンをつなぐことであると考えております。また最近はこちらに加え、④在宅での療養継続が困難な方へのレスパイト入院、⑤認知症の診断やケア、⑥末期がんをはじめとする緩和ケアのニーズの高まりも強く感じております。

今後も様々なニーズに可能な限り応えていくとともに、「病気や介護で困ったときは小山田に相談すれば何とかしてくれる」と地域の皆様から思ってもらえるような病院を目指し、日々努力を重ねていきたいと考えております。

## 地域医療機関の先生方へ

### 救急外来への患者さんの紹介についてお願い

救急外来へご紹介いただく患者さんの状態は、一刻を争うことが多々あります。

正確な情報が必要となりますので、地域連携課を通さずに、**代表電話(059-345-2321)**を通して、救急外来担当医師と直接お話をさせていただきますようよろしくお願いいたします。